



スタジオ向けはもちろんのこと 色づけない極めてハイCPなサウンドは 入門層にもお薦め

文 ● 岩井 喬 Takashi Iwai

The Empire ¥35,000

フルテック

ACパワーコード

Photo ● Y.Kawamura



S P E C

導体 ● PC-Triple-C導体 (45本 / 0.32×3極) 絶縁体 ● 特殊耐熱オーディオグレードPVC
 インナーシース ● RoHS指令適合オーディオグレード柔軟性PVC、外径5.0mm
 シールド ● 0.12mm OFC編組 アウターシース ● RoHS指令適合オーディオグレード柔軟性PVC外径16mm
 アウタースリーブ ● ナイロン糸編組 問い合わせ先 ● フルテック㈱ Tel.03-6451-3941

電 源ケーブルで音が変わるという事象はスタジオなどの音楽制作現場やミュージシャンの間ではまだまだ訴求されていない。こうした音楽を生み出す現場において、オーディオ用の高級ケーブルは予算的に見合わないこともあり、効果があると分かったとしても当初から選択肢に入らないことがままある状況だ。そこで最新のマテリアルを用いながらもコストを抑え、音楽制作現場でも使えるよう開発された電源ケーブルがフルテックの本機である。Studio Power Seriesと銘打たれたスタジオ向けモデルは下位のThe Astoriaと上位となる本製品が用意されており、各々明確に音質傾向を分けた仕様としたのがポイントだ。導体はPC・Triple Cを取り入れ、0・32mm線×45本をひとつの芯とし、これを3組配置。ワイヤー取りつけには接触面積を増加させる特殊な構造を取り入れ、安定度の高い電流伝送が可能になったという。

プラグは純銅の上に24K金メッキを施す2層メッキ構造を用いたFI・11MG / FI・11(G)。外来ノイズを抑止するため、OFC編組シールドや特殊隔離構造を取り入れた。試聴はUSB・DAC、ラックスマンDA・06に本製品を接続。高解像度かつアタックを的確に捉える高レスポンス性を持たせたバランス重視のサウンドを目指したというが、その傾向の通り立ち上がりのよいストリートな音色だ。SN比がよくすっきりと見渡せるクリアな音場再現性も素晴らしく、ボーカルをはじめとする音像は太さを持ちつつフォーカスよく立ち上がる。オーケストラの臨場感あるハーマニーは立体的で、余韻の階調も細やか。ロックのディストーションギターも締まりがよく、リズム隊のタイトなアタックも硬くなりすぎずナチュラル。ジャズピアノは抑揚のあるタッチでハーマニクスも響きも澄んでいる。ウッドベースは弾力と艶のある表現だ。スタジオ向けはもちろんだが、色づけない極めてCP比の高いサウンド性は入門層にもお薦めである。

